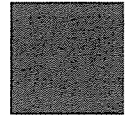


様式第1号（第2条関係）

令和5年9月30日

恵那市長
小坂 喬 峰 様
（恵那市議会議長経由）

恵那市議会議員 伊藤 勝彦



交付請求書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、下記のとおり請求します。

記

政務活動費請求金額 43,092 円

ただし、 令和5年 4月分 ～ 令和5年 9月分



様式第2号(第2条関係)

令和5年9月30日

恵那市議会議長

千藤 安雄 様

恵那市議会議員 伊藤 勝彦

収支報告書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、令和5年4月分～令和5年9月分に係る政務活動費収支報告書を提出します。

記

1 収 入

政務活動費 43,092 円

2 支 出

単位：円

項 目	支 出 額	備 考
調 査 研 究 費	43,092	視察費等
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
合 計	43,092	

様式第3号(手引き第4章関係)

(本人作成書類)

令和5年度 恵那市議会政務活動費会計帳簿

議員名 伊藤 勝彦

(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)

単位(円) 【 1 - 1 】

日付		整理番号	条例別表 の項目名	摘 要	領収額	政務活動費 充当額	支出可能額 (残)
5	16	1	調査研究費	5/16 宿泊代	12,460	6,300	113,700
5	17	1	調査研究費	5/17 宿泊代	7,200	7,200	106,500
5	31	2	調査研究費	5/16-18 バス代金等	29,592	29,592	76,908
合計					49,252	43,092	

注 この会計帳簿に記載する整理番号及び政務活動費充当額は、領収書貼付用紙の記載した整理番号及び政務活動費充当額と一致する。

様式第5号（第5条関係）

領収書貼付用紙

年 度	令和5年度	項 目	調査研究費
整 理 番 号	1	議員名	伊藤 勝彦
支出の按分の状況	(按分の内容) 食事を除く宿泊費のみ計上 5/16(12,460円－朝食660円－夕食5,500円＝6,300円) 5/17(7,200円；食事を控除済) (按分率) 13,500/19,660＝0.6866 (政務活動費充当額) 13,500円(6,300円＋7,200円)		
領収書の補足説明	5月16日～5月18日行政視察における宿泊代		
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄			

領 収 証

日付 令和5年5月16日

印
紙

御芳名

伊藤 勝彦 様

庄原グランドホテル
SHOBARA GRAND HOTEL

金 額 ￥12,460－

〒727-0013

広島県庄原市西本町三丁目16番5号

TEL (0824) 72-6789

摘 要

ご宿泊代として

(金額を訂正したものと及び社印取扱者名なきものは無効)

取扱者 富岡

No. 16850-1

領収書

お 名 前 (Name)

RECEIPT

伊藤 勝彦

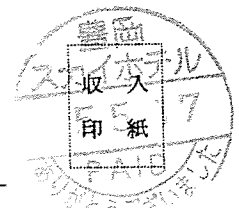
様

予約金・前受金 Advance	クーポン Coupon	クレジット Card
7,200		
売掛金 Credit	ご返金 Repayment	領収額 Receipt
		0

TOYOOKA SKY HOTEL
豊岡スカイホテル〒668-0024 兵庫県豊岡市寿町9-5
TEL: 0796-22-4411 FAX: 0796-22-4412

発行月日 (Issue)

2023/05/17



(内消費税 ￥654/内軽減税 ￥0)

様式第5号（第5条関係）

領収書貼付用紙

年 度	令和5年度	項 目	調査研究費		
整 理 番 号	2	議員名	伊藤 勝彦		
支出の按分の状況	(按分の内容) 視察研修にかかる交通費として、貸し切りバス代を 人数割りした領収証を徴収。一人あたり 29,592 円。				
	(按分率) 100%	(政務活動費充当額) 29,592 円			
領収書の補足説明	5月16日～5月18日行政視察における貸し切りバス代				
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄					

領 収 証

No. 0001249

R5 年 5 月 31 日

伊藤 勝彦

様

金額	百万		千			円
	4	2	9	5	9	2

収 入
印 紙

但し ☐ バス代金として ☐ ツアー代金として

☐ 旅行代金として ☒ その他 (研修会 交通費)

上記金額正に領収いたしました

内訳

税抜金額

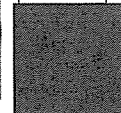
消費税額 (%)



ごとう観光バス
Goto kanko bus

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町 2729-401
TEL 0573-26-1253 FAX 0573-26-1405
URL: http://510bus.com

取扱者



様式第4号(手引き第4章関係)

(本人作成書類)

令和5年 5月 15日

恵那市議会議長
千藤 安雄 様

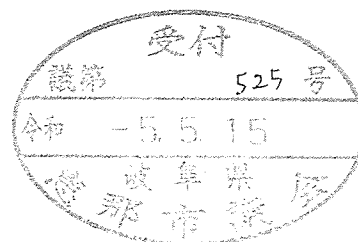
恵那市議会議員 伊藤 勝彦

研修・視察等届出書

恵那市議会政務活動費運用の手引きの規定により、研修・視察等届出書を提出します。

記

日程	令和5年5月16日 ～令和5年5月18日
出張者	鶴飼伸幸、堀 光明、伊藤勝彦、服部紀史、後藤康司、千藤安雄 西尾 努、柘植孝彦、太田敦之、林 貴光、町野道明、山内敏敬 (12名)
用務地	岡山県奈義町 岡山県真庭市 島根県美郷町 兵庫県豊岡市
用務内容	岡山県奈義町…少子化対策「町全体での子育て」 岡山県真庭市…SDGsの取組「里山資本主義」の実践 島根県美郷町…ジビエによるまちおこしの実践「美郷パレー構想」 兵庫県豊岡市…移住定住対策、観光DXの実践 いずれの視察内容も恵那市の課題であり、今回の視察により、今後の恵那市の市政や施策並びに事業展開に生かすためのものである。



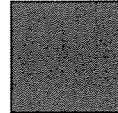
様式第4号（第4条関係）

令和5年5月22日

恵那市議会議長

千藤 安雄 様

恵那市議会議員 伊藤 勝彦

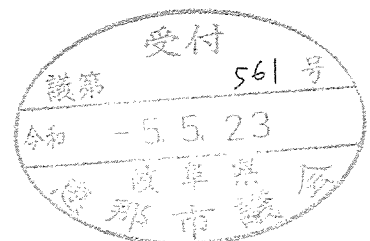


研修視察等報告書

恵那市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- 1 期 間 令和5年5月16日 ～ 令和5年5月18日
- 2 研修視察先
 - 1日目…岡山県奈義町 「少子化対策～町全体での子育て～」
こども・長寿課 副参事 小坂 正平様
岡山県真庭市 「地方創生応援税制大臣表彰の取組」
・「里山資本主義」真庭の挑戦～SDGsの実践～
・企業版ふるさと納税（人材派遣型）
総合政策部総合政策課 係長 古南 武永様
 - 2日目…島根県美郷町 「ジビエでまちおこしと美郷バレー構想」
美郷バレー課 課長 安田 亮様
 - 3日目…兵庫県豊岡市 「移住定住施策と観光DX～城崎温泉から」
くらし創造部地域づくり課移住定住・若者係 沖中 正孝様
観光文化部観光政策課 課長 宮垣 均様
- 3 研修視察名
有志議員による、恵那市の課題である少子化対策、獣害対策、観光施策について、先進地域の取組を視察することによって、今後の恵那市の市政及び事業に生かすよう研修を行った。
- 4 研修視察者
鵜飼伸幸、堀 光明、伊藤勝彦、服部紀史、後藤康司、千藤安雄
西尾 努、柘植孝彦、太田敦之、林 貴光、町野道明、山内敏敬、（12名）
- 5 概 要
 - 1日目…岡山県奈義町、岡山県真庭市における事業説明
 - 2日目…島根県美郷町における事業説明並びに視察
 - 3日目…兵庫県豊岡市における事業説明
- 6 効 果
別紙報告書を参照ください。



様式第1号(手引き第3章関係)

(本人作成書類)

令和5年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 伊藤 勝彦

1. 会の名称	恵那市議会 有志(新政会及び無会派議員)
2. 開催日時	令和5年5月16日 13時00分 ~ 14時30分
3. 会場	岡山県奈義町 奈義町役場
4. 参加議員名	鵜飼伸幸、堀 光明、伊藤勝彦、服部紀史、後藤康司 千藤安雄、西尾 努、柘植孝彦、太田敦之、林 貴光、 町野道明、山内敏敬
5. 参加人数	12人
6. 内容(目的)	恵那市の大きな課題である少子化対策について、町全体で子育てを行い、令和元年の合計特殊出生率「2.95」を実現するという実績をあげている町の取組について視察を行い、恵那市の取組に生かすため。 【説明の内容】 1. 奈義町について 2. 子育て応援宣言 3. 子育て支援施策 ・子育て関連施設 ・しごとコンビニ事業 ・主な経済的支援 ・企業誘致～住宅の整備～

注1 関係書類を添付すること。

注2 事業毎に別様として作成すること。

様式第1号(手引き第3章関係)

(本人作成書類)

令和5年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 伊藤 勝彦

1. 会の名称	恵那市議会 有志(新政会及び無会派議員)
2. 開催日時	令和5年5月16日 15時30分 ~ 17時00分
3. 会場	真庭市役所 4階会議室
4. 参加議員名	鶴飼伸幸、堀 光明、伊藤勝彦、服部紀史、後藤康司、 千藤安雄、西尾 努、柘植孝彦、太田敦之、林 貴光、 町野道明、 山内敏敬
5. 参加人数	12人
6. 内容(目的)	恵那市が昨年度から取り組んでいるSDGs未来都市について、以前から森林という地域資源を生かした先進的な取組を行っているから真庭市のSDGsの取組、さらには企業版ふるさと納税(人材派遣型)の取組について、視察を行うことにより、今後の恵那市の事業展開に生かすようにする。 【説明の内容】 1. 真庭市の姿 2. 多彩で循環性のある持続可能なまち 3. 生活しやすく品格のある都市 4. 新たな取組 5. 企業版ふるさと納税(人材派遣型) 6. むすび〜日本の農山村のモデルを目指して〜

注1 関係書類を添付すること。

注2 事業毎に別様として作成すること。

様式第1号(手引き第3章関係)

(本人作成書類)

令和5年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 伊藤 勝彦

1. 会の名称	恵那市議会 有志(新政会及び無党派議員)
2. 開催日時	令和5年5月17日 10時00分 ～ 11時30分
3. 会場	みさと館3階多目的室
4. 参加議員名	鶴飼伸幸、堀 光明、伊藤勝彦、服部紀史、後藤康司、 千藤安雄、西尾 努、柘植孝彦、太田敦之、林 貴光、 町野道明、 山内敏敬
5. 参加人数	12人
6. 内容(目的)	恵那市の課題の一つである獣害対策と本年度から事業展開が開始される(株)恵那ジビエのブランド化に向けて、最先端の取組を行っている美郷町の取組について視察することによって、今後の恵那市の事業展開に生かすようにする。 【説明の内容】 1. おおち山くじら物語～第1章から第5章～ 2. 美郷町の人口減少対策 3. 美郷バレー構想 【視察】 野生鳥獣の皮革によるクラフト制作

注1 関係書類を添付すること。

注2 事業毎に別様として作成すること。

様式第 1 号(手引き第 3 章関係)

(本人作成書類)

令和 5 年度 恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名 伊藤 勝彦

1. 会の名称	恵那市議会 有志(新政会及び無党派議員)
2. 開催日時	令和 5 年 5 月 1 8 日 9 時 3 0 分 ～ 1 0 時 5 5 分
3. 会場	豊岡市役所第 3 委員会室
4. 参加議員名	鶴飼伸幸、堀 光明、伊藤勝彦、服部紀史、後藤康司、 千藤安雄、西尾 努、柘植孝彦、太田敦之、林 貴光、 町野道明、山内敏敬
5. 参加人数	1 2 人
6. 内容（目的）	恵那市の課題である少子化対策、なかでも移住定住施策、さらには本市が力を入れている観光施策について、先進的・特徴的な取組について、視察をすることによって、今後の恵那市の事業展開に生かすようにする。 【説明の内容】 1. 豊岡市の移住定住施策 2. 豊岡市の観光施策 ・豊岡観光イノベーション ・豊岡観光 DX の取組 ・演劇のまちづくり

注 1 関係書類を添付すること。

注 2 事業毎に別様として作成すること。

行政視察報告書

新政会 伊藤勝彦

I. ねらい

恵那市の複数ある課題について、先進的な取組を行っている自治体を視察することによって、今後の恵那市の施策に生かすようにする。今回の視察で取り扱う課題は以下のようである。

- ・少子化対策—子育て支援施策について … 岡山県奈義町
- ・SDGs の取組とふるさと納税の活用について … 岡山県真庭市
- ・獣害対策とジビエについて … 島根県美郷町
- ・移住定住施策と観光 DX について … 兵庫県豊岡市

II. 行程

- 1 日目 (5/16) 少子化対策—子育て支援視察 (岡山県奈義町)
SDGs 里山資本主義・企業版ふるさと納税視察 (岡山県真庭市)
- 2 日目 (5/17) 美郷バレー構想・ジビエでまちおこし視察 (島根県美郷町)
- 3 日目 (5/18) 移住定住施策・観光 DX 視察 (兵庫県豊岡市)

III. 視察内容

1. 岡山県奈義町の視察 少子化対策—子育て支援—

○対応 こども・長寿課 副参事 小坂 正平様

(1) 奈義町について

①奈義町の概要

- ・昭和 30 年 2 月 3 村合併により「奈義町」が誕生
- ・平成 14 年 12 月 合併の意思を問う住民投票を行い「単独町政」を決定
- ・面積 69.52 km² (東西約 9km/南北 10km)
- ・人口 5,751 人 (2023.3.1 現在)
- ・世帯数 2,533 世帯 (2023.3.1 現在)
- ・特色 自衛隊

②地形・文化・芸術

- ・地形 … 国定公園那岐山、那岐山麓山の駅、大銀杏
- ・文化 … 横仙歌舞伎
- ・芸術 … 奈義町現代美術館

③課題と目標

奈義町の存続のため「人口減少」は最大の課題

課題 人口減少・少子高齢化 2020 年 人口 5,578 人 高齢化率 35.5%

対策 定住促進のための

- ・子育て支援施策 (産み育てる環境)
- ・住宅施策 (住む環境)
- ・魅力ある教育

・就労の場の確保施策（働く環境）

目標 現在の人口を維持すること

(2) 子育て応援宣言

①はじめに

少子化対策は子育て世代だけの問題ではない。

だからこそ、課題を住民と一緒に考える。⇒少子化対策は最大の高齢者福祉

②奈義町子育て支援年表

平成14年12月1日 合併についての意思を問う住民投票

平成19年4月1日 なぎチャイルドホーム解説（ファミリーサポート、子育て支援施設）

平成24年4月1日 子育て応援宣言

平成29年4月1日 しごとコンビニ事業開始

③子育て応援宣言の発表

平成24年 奈義町子育て応援宣言を発表

⇒町民へ行政が約束する 宣言することで 町民へ「安心感」と「心強さ」を

「奈義町子育て応援宣言」(抜粋)

子ども達は次世代を担うかけがえのない存在で、奈義町を守り支えてこられたお年寄りとともに、奈義町の大切な宝物です。

...

奈義町にすめば子育てが安心、奈義町は子育てしやすいまち、との声が全国に広がることを目指します。

...

「家庭・地域・学校・行政みんなが手を携え地域全体で子育てを支えるまち」を目指し、ここに「奈義町子育て応援宣言」を行います。

④子育て応援宣言の結果

高い合計特殊出生率の達成 令和元年 合計特殊出生率「2.95」を記録

(3) 子育て支援施策

①奈義町の子育て支援の主な特徴

住宅整備、企業誘致、経済支援、子育て施設、チャイルドホーム、しごとコンビニ事業、しごとえん

②子育て関連施設

- ・令和6年春 こども園開園（予定）
- ・令和6年春 中学校1校建て替え完了（予定）
- ・令和2年度 子育て支援施設（チャイルドホーム）全面リノベーション

③なぎチャイルドホーム — 町民同士で支え合う子育てサポート制度

- ・子育ての心の支え … 子育てアドバイザー在中する保護者の交流の場
- ・ちょっと子どもを預けたい時の一時保育「すまいる」
- ・週4で通え、親同士で起用力する保育活動「自主活動たけの子」

④しごとコンビニ事業

目的 1)子育てしながらでも、就労できる仕組みや環境を整備する。

2)シニア世代など、時間に余裕がある人、社会に役に立ちたい人と考える人らが、少しでも働くことができるようにする。

3)一つの仕事を、みんなでワークシェアすることで、より多くの人が地域や社会に関われるような総活躍のまちをつくる。

4)町の中に今ある仕事や、新しい仕事の受け皿づくりをすることで、新たな産業の創出や働きやすい職場環境を作っていく。

5)仕事を任せる側(専業主など)の、業務の効率化を図る。

対象 子育て中の母親、なぎチャイルドホームの利用者、保育園・幼稚園・小・中・高校生の保護者、シニア世代など

実施主体 一般社団法人しごとえん(町民主体で法人化)

⑤経済的支援の主な例 一町民の気持ちに寄り添った経済支援—

- ・保育料が国基準の約半額、さらに第2子はその半額、第3子以降は無料
- ・特定不妊治療を受けた方に県の助成を引いた額の1/2以内で年額20万円を助成
- ・在宅育児をする保護者に毎月15,000円の支援金
- ・小中学校の給食費の半額を町で負担
- ・小中学校の教育教材費を無料化
- ・中学3年生までの子どもを育てるひとり親に年額5万4千円を支給、第2子以降は1人2万7千円加算
- ・高校生までの医療費無料
- ・高校生への少額支援として年額240,000円の支援金
- ・大学生に町独自の奨学育英金、卒業後に町への定住で全額返済免除
- ・おたふくかぜやインフルエンザなどの予防接種も助成

⑥企業誘致

平成4年完成 … 全16社立地、約800名が就労

⑦賃貸住宅の整備

- ・町で賃貸住宅を建設
- ・賃貸住宅不足を解消するため、町で「民間賃貸住宅の建設」を助成

⑧分譲住宅の整備

- ・民間分譲地整備補助

⑨ナギフトカード

- ・多世代共生型ナギフトカード…ICチップ入り電子カードを住民全員に配布

■高い合計特殊出生率の鍵は「安心感」

- ・住むところがあって安心…若者住宅、定住促進住宅、安価な分譲地など
- ・働くことができて安心…工業団地や起業支援、しごとコンビニ、シェアオフィスなど
- ・子育ての負担が軽くなって安心…出生から大学卒業まで切れ目のない経済的支援
- ・子育ての悩みや喜びが共有できて安心…チャイルドホームが核となり多様な地域の人がかかわる仕組み
- ・町のみんなが子育てを応援してくれて安心…一時預かり、自主保育、登下校の見回り、学校支援ボランティアなど

2. 岡山県真庭市の視察 「里山資本主義」真庭の挑戦—日本の農山村のモデルを目指して

○対応 総合政策部総合政策課 係長 古南 武永様

(1) 真庭市の姿

①真庭市の概要

- ・2005年3月31日、9町村が合併し、「真庭市」誕生 市政18年
- ・多彩制を生かした広域行政を推進して、「ひとつの真庭」として自立
- ・一方、人口減少・少子高齢化、交付税特例措置の廃止対応や公共施設の統廃合等の課題有
- ・面積 約828km²(恵那市の1.6倍)
- ・人口 42,102人
- ・西日本有数の木材集散地域(面積の79.0%が山林)
- ・日本最大のジャージー牛の酪農地帯

②林業・木材産業の状況

- ・森林面積 65,438ha
- ・人口林率 約58% (ひのき7割 杉2割)
- ・林業事業体 約20社 (従事者は24名、平均年齢40歳台)
- ・原木市場 2社・3市場
- ・製材所 約30社

(2) 多彩で循環性のある持続可能なまち

①地域資源を生かした「回る経済」を確立する

【地域資源 (農林畜産業・森林・川・里山文化) + 「住民の力」⇒バイオマスの産業のまち】

「21世紀の真庭塾」…スタートで市が木質バイオマスを支援

【バイオマス産業杜市の推進 (平成26年3月バイオマス産業都市認定)】

「バイオマス産業杜市」⇒1)真庭バイオマス発電事業、バイオマス熱利用…平成27年4月稼働

2)木質バイオマスリファイナリー事業…高付加価値新素材の開発など

3)有機廃棄物資源化事業…生ごみ資源化事業と農業との連携

4)産業観光拡大事業…「バイオマスツアー」「CLTチョコレート」など

「ジャパン・レジリエンス・アワード2016」 バイオマス大賞グランプリナド

・森を守るとともにバイオマス発電やCLT事業など地域産業の振興は、一石三鳥、四鳥のモデル的な取組

・自治体、事業所、山主、市民が連携した事業モデルは大いに評価できる

1)【木質バイオマス発電所】

- ・未利用や産廃処理されていたものが、資源として有価で取引
- ・山林所有者へ燃料代のうち500円/tを還元する仕組みを構築

○バイオマス発電は大きなトラブルもなく、エネルギー事業として大きな収益を上げ、山元や製材所等林業・製材業者へ利益還元

○真庭市のバイオマス事業の信頼性⇒確実に資源が集まる地域であるという強みがある

2)【木質バイオマス・リファイナリー (マテリアル利用促進・木材の需要拡大)】 令和元年度で事業終了

○真庭市バイオマスリファイナリー事業推進協議会

NPO法人、大学、企業、森林組合・木材組合、国・県の研究機関、真庭市・岡山県

○民間によるセルロースナノファイバー等素材や製品の開発

○鉄筋鉄骨に代わる新たな構造材 CLT

〈CLT活用の課題と取組〉

●CLTを多様な用途に活用し、裾野産業を広げる

- ・建築資材としての新たな需要創出 (コンクリートの代替可能性を確立)
- ・従来工法の中にCLTを組み合わせる (ハイブリッド)
- ・家具、木堀、木工製品などの新製品の開発

●輸出による木材需要の拡大

- ・高い製材技術を生かし、世界市場でも優位性を確保
- ・CLT工場 (生産能力3万m³) 建設中
- ・輸出による外貨の獲得、需要拡大

●東京オリンピックにおけるCLT活用促進

- ・東京オリンピックのプレスセンター等にCLTの使用をめざす

3)【有機廃棄物資源化 (生ごみ・し尿等液肥化事業)】

・生ごみ・し尿浄化槽汚泥⇒資源化施設 (メタン発酵) ⇒液肥の農業利用⇒安心・安全な農産物⇒

4)【産業観光 (バイオツアー真庭)】

- ・「バイオマスツアー真庭」の実施
- ・バイオマスにちなんだお土産店 CLTチョコレート、ペレットクッキー

■【「回る経済」～「地産地消」から「地産都市消」】

○市内で付加価値をつける … 合併効果として、水平方向の企業連携

・南部のパッケージ企業と北部の製造業の連携

「地域資源」+「地域資源」⇒「地域資源・地域資源」

○地場産業づくり … 生ごみ資源化事業や6次産業化の推進

・蒜山ジャージーヨーグルト

・富原茶ペットボトル製造販売

「地域資源」+「地域資源」×「アイデア・外の視点・デザイン」⇒「地域資源・地域資源」

(3) 生活しやすく品格のある都市

①人が暮らす風景と快適な住環境をつくる

中山間地域における地方分散型のモデル地域を目指し、人口減少の抑制と年齢構成の偏在の解消に向け、既に効果が発現している地域エネルギー100%に向けた取組を強化。地域資源を活用したCLT等の木材需要拡大、バイオ液肥を活用した農業推進、独自の観光事業の促進など循環型の「回る経済」を確立する。

【三側面をつなぐ総合的取組】…持続的発展に向けた地方分散型モデル事業

【経済】…〈取組課題〉地域資源を活用した「回る経済」の確立

・木質バイオマス発電の推進、CLT活用等木材需要の拡大、
資源循環・環境保全型農業の推進、観光地域づくり

【環境】…〈取組課題〉地域エネルギー自給率100%、木質資源活用等によるCO2排出量削減

・持続可能な森林づくり、生ごみ資源化、マイクロ・小水力発電の推進

【社会】…〈取組課題〉環境に配慮した経済活動を行うことのできる人材育成

・経済及び環境における学習機会の創出、グローバル人材育成、資源の分別の推進

○真庭市はゼロカーボンシティとしてCO2削減にも取り組んでいる。

○2022年には脱炭素先行地域に選定され、ゼロカーボンに向けた取組を推進している。

(4) 新たな取組

①地方創生に向けた「SDGs」の推進（SDGs未来都市「真庭」）

【SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業】

○SDGs未来都市選定の理由

総合計画…真庭ライフスタイル、里山資本主義

1)エネルギーの自立

2)環境に配慮した循環型産業

3)都会にはない真庭らしい暮らし

○SDGsの取組

・バイオマス発電所、生ごみ液肥化事業、バイオマスツアー、あぐりネットワーク、地域振興会社、

⇒SDGsを市民運動に！

○2030年の目指す姿

・木質バイオマス等の再生可能資源によるエネルギー自給率100%達成、有機廃棄物を利用した環境保全型農業から生まれた農産物の地産地消などにより、市外に流出していたお金が市内で循環する「回る経済」が確立（環境⇄経済）

・気の香りあふれる中央図書館を拠点とした生涯学習、木造の小学校・こども園等を拠点とした郷育により、

都市の「効率」より農山村の「生活の質」を字融資する若者、関係人口、移住者が増加し、彼らが地域に創造される新産業の担い手となる（経済⇄社会）

- ・下流の都市住民、漁業者等と連携した旭川の環境保全活動等を通じて、持続可能で豊かな環境が創出され、地震などの大規模災害の少なさともあいまって、安定・安心な真庭ライフスタイルが実現（社会⇄環境）

以上のような自律的好循環の形成によって、真庭市は、東京一極集中に伴う人口減少や地域経済の衰退といった負の連鎖を完全に断ち切り、日本の地方・農山村の持続的発展のモデルとなる。

(5) 企業版ふるさと納税（人材派遣型）

①制度概要（内閣府 HP より）

企業版ふるさと納税の仕組みを活用して、専門的知識・ノウハウを有する企業の人材の地方公共団体等への派遣を促進することを通じて、地方創生のより一層の充実・強化を図る。

②導入するための課題

【課題1】…地方公務員であるためには、給与を自治体が支払わなければならない。

【課題2】…派遣される人材の自治体における身分をどうするのか。

【課題3】…給与や手当の設定をどうすべきか。

③導入するための体制

④任用までの流れ

(6) むすび ～日本の農山村のモデルを目指して～

真庭スタイル＝多彩な真庭の豊かな生活

～地域資源を生かした、新しい価値観による生活スタイル～

●地方にあって、都市部にはないもの

人のつながり、だれもが活躍できる機会、自然、里山文化、高齢者の知恵
（金銭に換算できない豊かさ、価値）

●とくに真庭にあるもの

住民の自主性、安全安心、多彩な地域（たくさんの選択肢の中から自ら選ぶ）

しごと・教育・子育て支援・まちづくり 地方創生の柱

これらを中山間地域につくりだすことで、真庭市の課題を克服していく

過疎地域・中山間地域には、たくさんの地域資源「文化・ひと・自然」がある

⇒住んでいるひとの「個性と能力」を生かすことができる

「だれもが地域の財産として活躍できる」＝豊かな生活

ひとの幸せ、まちの魅力、地域価値の向上

3. 島根県美郷町の視察 ―美郷バレー構想・ジビエでまちおこし―

〇対応 美郷バレー課 課長 安田 亮様

(1) 美郷町の概要 ―何もない町にある無限の資源と可能性―

- ・平成16年10月1日、邑智町と大和村が合併して美郷町が誕生。
- ・「水と緑 いきいき輝く 夢あふれる協働のまち」を基本理念に、自ら考え行動すること、住民と行政が協働すること、地域の個性を生かし連携することの3つの基本方針を設定し、自由民の皆様に信頼されるまちづくりを進めている。
- ・総面積282.92km²、総面積の大半を山林が占めており、居住可能地の面積はわずか。
- ・人口4,700人、人口減少と少子高齢化が進んでいる。自然動態は減少が続いているが、社会動態は町の定住対策の効果等により平成22年度から3年間は増加傾向にあった。
- ・何もない辺境の地に唯一あったものが、知恵、ノウハウ という無限の可能性をもった資源。

(2) 美郷町版・今昔物語 —イノシシは『害獣』ではなく『貴重な資源』— 1999年(H11)に物語は始まります。

イノシシ等の害獣対策を地元猟友会に依存した体制から改め、被害者である農家や自治体関係者等の自由民を主体とした駆除班に再編成することで、狩猟と被害対策の目的の線引きをしました。組織には新たに狩猟免許を取得した女性の方も3名いました。まさに元祖狩りガール。住民主体・主役の被害対策の始まりです。

休止していた既存のカモ食鳥処理施設をイノシシ食肉処理施設として再利用し、それまでは捕獲後に埋設処理されていたイノシシの資源利用に取り組む、山くじら生産者組合が誕生します。組合ができたことで、イノシシを“おおち山くじら”と命名したブランド化が進み、処理負担も軽減されました。イノシシは食肉として出荷するほか、町内女性グループが中心となって皮革製品を開発・販売したり、地元飲食店で山くじら料理として提供されるなど、様々な形で活用し、6次産業化を実現しています。

また、農研機構の指導の下、獣害に強い畑づくりを実践し、学ぶ園場“青空サロン”は、さらに手づくり市場の開設と運営につながり、内発的な地域づくりに発展しました。

このイノシシの捕獲から資源化、地域づくりまでの取組には、多くの住民が関わっており、獣害対策を契機とした個性ある地域づくりへと成長しました。また、山くじらの取組に魅せられた若者や企業が、閉所した保育所を利用した缶詰製造加工を始めたり、高齢化した山くじら生産者組合の食肉生産の事業を継承するなど、20年かけて“おおち山くじらブランド”を創出しました。

そして第5章『美郷バレー構想』に物語は続いていきます。

(3) おおち山くじら物語

①第1章 獣害被害対策の抜本的改革

- ・捕獲確認方法の見直し
- ・住民主体の組織の再編制

②第2章 資源利活用

- ・夏イノシシ（駆除イノシシ）の資源利活用
- ・イノシシの生体搬送

③第3章 地域づくり・コミュニティビジネス

- ・農村女性の輝きと高齢者の活躍
- ・住民のたまり場創出

④第4章 定住・雇用・ローカルビジネス

- ・山くじら物語第4章の新たな主人公
- ・ローカルビジネスは町おこし

※第1章～第4章 全国から多彩な人材が辺境の地に集う

⑤第5章 「美郷バレー」から地方と都市の新たな暮らしの変革が今はじまる！

獣害を逆手にとって住民が地域づくりに生かしてきた20年間（山くじら物語第1章～第4章）。次のステージは鳥獣害の問題とその対策をきっかけにさらなる多様な人や企業がつながり、プラス志向の化学反応による改革が都市と地方の暮らしを元気にしていく…山くじら物語第5章の幕開けです。

第5章は、地域づくりに同じ思いや理念、互いに共感した産官学民の仲間が美郷バレーに集い、個々の専門分野にとらわれることなく、分野の既成概念を越えた知恵や発想を共有しながら具現化し、その輪がさらに広がって地方と都市の新たな価値観を創造していきます。

【美郷バレー】

産 (株) テザック タイガー (株) 古河電工 (株) クイージ (株) おおち山くじら
官 三重県津市 兵庫県丹波篠山市 神奈川県大磯町
学 麻布大学 (株) BO—GA
民 NPO 法人里地里山問題研究所

鳥獣と人間の闘い⇒過疎・人口減少と波との闘い

- 成熟した地域・高齢化を前提にした暮らしの事業展開
- 依存体質による失った自立や主体性の喪失を再生

4. 兵庫県豊岡市の視察 ー移住定住施策・観光政策ー

○対応 ぐらし創造部地域づくり課移住定住・若者係 沖中 正孝様
観光文化部観光政策課 課長 宮垣 均様

(1) 移住定住対策

①係の改編

○環境経済課 定住促進係 (UI ターンに関わることを包括的に)

1)移住全般 2)地域おこし協力隊 3)無料職業紹介所 (雇用関連全般) 4)U ターン促進 (新卒採用支援、就活イベント等) 5)高校生シビックプライドづくり 6)空き家対策

○地域づくり課 移住定住若者係 (UI ターンや若者施策に関わること等地方創生全般)

1)移住全般 2)地域おこし協力隊 3)無料職業紹介所 (雇用マッチング) 4)U ターン促進 (新卒採用支援、就活イベント等) 5)高校生シビックプライドづくり 6)空き家対策

7)婚活関連事業

8)二十歳を祝う会

9)若者の意見集約 (若者会議)

(2) 飛んでるローカル豊岡・～コウノトリが飛んでいる～ ～ぶっとんでるヒト・コトがある～

①市が運営している移住の総合サイト

・WEB アクセス…44,446 (2018.4) ⇒73,286 (2022.4)

・移住者数…2016年度～2022年度までの移住者数合計 316組 568人 2022年度 58組 111人

・但馬宅建業協会と協定締結…市内の民間不動産会社が仲介する「まとめサイト」的な形で、飛んでるローカル豊岡で掲載

飛んでるローカル豊岡「住まいの情報」掲載物件数

掲載内容	件数
売買物件	129
賃貸物件	11
合計	140

2023年3月時点

☆キラリと光るスペシャル・ランキング

不動産情報が少ない地方では、空き家バンクの登録物件数が移住者の受け皿になる

		売買 (件)	賃貸 (件)	合計 (件)
1位	岡山県津山市	158	39	197
2位	山形県鶴岡市	164	3	167
3位	兵庫県丹波篠山市	125	19	144
3位	群馬県桐生市	139	5	144
4位	兵庫県豊岡市	127	14	141

②空き家の改修に係る支援

「飛んでるローカル豊岡」に掲載されている住宅を、移住者が購入する又は貸借するにあたり、回収等に要する費用の一部を補助

〈対象者〉 空き家へ入居する移住者

〈条 件〉 改修後5年以上居住すること

〈対象経費〉 住宅の改修費用等

〈補助率等〉 対象経費の3分の2以内、上限100万円

(3) 空き家の活用促進

- ・地域の活力そのもの
- ・移住の入り口であり地域との接点…地方企業で働く人材、地域の担い手
- ・将来の大切な財源確保

①地域おこし協力隊の空き家活用 … 現役隊員の40%、17人が空き家等で居住
現役隊員 45人

※全国の隊員数

1位 北海道東川町 (64人) 2位 熊本県高森町 (59人) 3位 岡山県西粟倉村 (55人)
4位 新潟県三条市 (52人) 5位 兵庫県豊岡市 (50人)

- 1)活動事例① 演劇祭でのコラボ
- 2)活動事例② 市街地でのコラボ
- 3)活動事例③ 竹野、但東でのコラボ
- 4)定住事例① (一社)ちいきのて (NPO) たけのかぞく
- 5)定住事例② ゲストハウス 竹野、市街地
- 6)定住事例③ 猟師(ジビエ)と漁師(遊漁船)

②移住スカウトサービス SMOUT を活用

※「SMOUTアワード」に4年連続TOP3にランクイン

1位 山口県萩市 2位 長野県伊那市 3位 兵庫県豊岡市

(4) まとめ

①地域おこし協力隊採用計画の立て方

- ・「どんな活動を、だれとやるのか」⇒具体的に
- ・募集担当チームは、「まちの人事部」という意識で
- ・課題解決はハードル高く少しネガティブ、価値創造は夢がありポジティブ

②ミスマッチを防ぐ集客と採用のポイント

- ・応募者数を増やす (SMOUTは効果大)
- ・選考には手間を惜しまない (豊岡市事例…書類選考+現地視察+面接)
- ・お試し協力隊制度を柔軟に活用
- ・協力隊受入したい⇒しっかり募集を行う はセット
- ・とにかくよいサイクルをつくろう

(応募多数⇒選考採用の重視⇒協力隊が活躍⇒地域の人が喜ぶ⇒要望が増える⇒予算増)

③豊岡市の協力隊制度の方向性

1)受入体制の多様化

継業型(1年)、起業型(2年)、担い手育成型、地域イノベーション型、マルチワーク型

2)協力隊の空き家活用を促進(地域密着度や定着率を向上)

現役隊員の40%(17人)が空き家等へ居住

3)起業支援の継続

起業補助金(上限200万円)、起業相談所「IPPO」の活用促進

④豊岡市の協力隊制度の展望

協力隊員として、スキルや魅力がある人の採用を行い各地域で活躍

⇒まちがどんどん面白くなり、面白くなったまちに惹かれて、豊岡に移住したい人や移住しないけど豊岡に関わりたい人が増える。

⇒地域資源が積極活用され、ローカルとしての魅力が磨かれ、持続可能な地域となる。

(2) 豊岡市の観光政策

①2016年6月1日設立 一般社団法人 豊岡観光イノベーション

観光まちづくりの観点から、当該地域の関係者の力を結集し、顧客視点に立ち、地域の魅力を再編集して、地域の稼ぐ力を引き出し、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。

観光地マーケティングにより 来訪者を増やす

滞在日数を増やす

消費額を増やす

観光まちづくりの参加者を増やす

②豊岡観光イノベーションの主な業務

【誘客・周遊に関すること】

- 1)海外プロモーション
 - ・メディア戦略
 - ・WEBマーケティング
 - ・SNSマーケティング
 - ・広域連携
 - ・来訪者アンケート

- 2)国内プロモーション
 - ・WEBマーケティング
 - ・WEBアプリマーケティング
 - ・SNSマーケティング
 - ・来訪者アンケート
 - ・問い合わせ対応

- 3)周遊促進施策
 - ・観光協会連携

【DX・受入に関すること】

- 1)データ収集・分析/観光DX推進
 - ・OTAデータ分析
 - ・観光DX基盤データ分析
 - ・観光DX基盤の整備・改善
 - ・宿泊施設のコンサルティング
- 2)商品開発・受入環境整備
 - ・商品開発と販売管理
 - ・旅行会社営業
 - ・受入整備

③外国語版宿泊予約サイトの運営とWEBマーケティング

④英語圏向けSNS(ネイティブ目線の発信)

⑥高付加価値向けツールズ

豊岡市立コウノトリ文化館

カバンストリート昼食／散策

温泉寺／古式入湯作法伝授

ハチゴロウの戸島湿地

01 「自然」體驗

02 「ルーツ (歴史・文化) 体験」

03 「暮らし（農業）体験」

⑦Visit Kinosaki における実績

⑧体験プログラム造成・販売

⑨コミュニティ・ツーリズム

新ブランド「ネオカル TOYOOKA」の立ち上げ

豊岡が持つ、自然、温泉、歴史、伝統、食、文化などのコンテンツに健康機能を付加した「体験」ブランド

体験造成・開発の対象となる3つのカテゴリ

アウトドア&スポーツ

リトリート&ビューティー

ワーケーション&プレジャー

産官学が連携し、持続可能な交流、健康増進、文化・スポーツの取組を推進

⑩豊岡観光DXの取組

・豊岡観光DX基盤+CRM機能 ⇒ ダッシュボード閲覧 (観光事業者/宿泊施設)

データの分析・共有（市・DMO）

顧客データの管理・顧客関連性の強化（市・DMO）

⑪演劇のまちづくり

教育や子育てなど生活の様々な議面に演劇的なものが馴染み、人々の考え方や生活スタイルにまで影響を与えているようなまち

「演劇のまちづくり」に関する取組

• 粵固演劇祭

・文化観光

・城崎国際アートセンター

・コミュニケーション教育

・芸術文化観光専門職大学

⑫コミュニケーション教育

世界では当たり前演劇的手法を用いたコミュニケーション教育を行い、世界に通じる合意形成能力を
ぐくむ。2017年度から市内の全小中学校で実施

認知能力（IQ、学力、論理性）＋非認知能力（やり抜く力、自制心、他社と協働する力など）

⇒人間の総合力

IV 研修を終えて

今回の視察研修では、いずれも恵那市の課題を取り扱ったものであり、たいへん示唆に富む内容であった。以下、学んだこと、今後に生かすことについてまとめた。

1. 人口減少・少子化対策について

この課題は全国的な課題であり、その克服はたいへん難しい。紹介された動画の中で、ある母親が「奈義町でなら、安心して子育てができるもう一人産もうかなと思う」と話していた。奈義町の少子化対策は、生まれたときから大学まで等、切れ目のない支援がなされていること。少子化対策と高齢福祉とをマッチングさせた対策が重要だと考えた。要するに、町全体で子育てをしているということである。人口規模の違う本市にそのまま適応

することはなかなか難しいが、発想や考え方はたいへん参考になる。

2. SDGs 未来都市 「回る経済」

「回る経済」、循環型社会の創設は本市においてもめざすところである。真庭市においては、市の資源である森林を生かしてバイオマス発電や農業振興に資するようにしている。恵那市の資源は何か、それをどのように有効活用するのか。それをどう経済活動に生かしていくのか。考えるべき課題である。

3. 獣害対策とジビエ

美郷町の取組からは多くの学びがあった。一つは獣害対策を進める組織体制の問題である。現在、恵那市における獣害対策は猟友会に頼っている。けれども、猟友会の目的と獣害を受ける農家とのミスマッチがある。これを解消することが大切なことであるということがわかった。猟友会とは別に農家等で組織した獣害対策組織を設置し、猟友会と併せて駆除していくことが重要である。それを推進していくのは、行政の役割であると思う。今後の展開に生かしたい。

ジビエは、処理施設が完成した恵那市において、安定的な個体の供給とそれをどのように経済活動として展開していくのか、今後の課題となると考えられる。

4. 移住定住対策

豊岡市では、移住者の多くが協力隊であるという。これは大きなヒントである。恵那市に魅力を感じ、恵那市に住んでみたいという若者を募集し、この若者の希望を聞きつつ、市として支援をしていくことが重要であると思った。その際に活用するのが、空き家である。これをシステム化することが重要である。その際の受け皿を核地域につくることも重要であると思った。

5. 観光政策

豊岡市の観光を担っているのが、豊岡観光イノベーション（DMO）である。この組織が観光政策を進めていくうえできわめて重要なものである。恵那市においては地場スクラムという DMO があるが、観光全体を視野に入れた動きをするような組織にはなっていない。今後、どのような動きを作っていくのかが大きな課題である。また、コミュニケーション能力を育む演劇のまちづくりの構想は参考になる取組である。

